

2015-2016 年度 国際ロータリーテーマ 「世界へのプレゼントになろう」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「きちんと 楽しく 我らはロータリアン」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長: 河合 洋 副会長: 本郷 滋 会長エレクト: 小野澤亮介 幹事: 樺本健夫 会報関連: 服部浩美 会報リーダー: 林 一好

10 月 28 日 第 1156 回例会

2015 年 10 月 28 日発行 (No. 1110)

本日の例会

ビュッフェ例会
— 会員懇談 —

席次のテーマ: 会員年齢順

次回の卓話 (11 月 4 日)

「ロータリー財団の意義と役割。
そして補助金」

地区補助金副委員長/地区財団資金管理委員長

荒牧 和夫 様

紹介者 大住省一会員

10 月 21 日 第 1155 回例会報告

卓 話

「漫画少年とトキワ荘の時代
～世界的なアニメブームのルーツを探る～」

東京ロータリークラブ 加藤 丈夫 様

紹介者 渡辺新吉会員

「内容を録音したデータが事務局にあります」



卓話をされる加藤丈夫様

会長報告

1. ラビンドラン RI 会長より、創立 25 周年を迎える当クラブへお祝いのメッセージをいただきましたので、回覧いたします。

幹事報告

1. こころの東京革命協会より、「親子の絆コンサート」のご案内をいただきました。詳細はテーブルに配布しましたパンフレットをご覧ください。参加するには申し込みが必要ですので、パンフレットのハガキをご利用ください。

2. ロータリーフェローズ東京 秋季例会 (懇親会) のご案内が届きました。

「秋季例会」とは、ロータリー財団奨学生のためにロータリー財団学友が 2004 年から始めたイベントです。ロータリー財団補助金奨学生たちとの交流を深める場として開催されております。

日時: 2015 年 12 月 6 日 (日) 14:00 ~ 16:30
場所: 国際基督教大学 (ICU)

ロータリアンの参加も歓迎とのことです。詳細はクラブ事務局へお問い合わせ下さい。

もう 1 件、「第 8 回全国 RYLA 研究会」をご案内いたします。

日時: 2016 年 1 月 31 日 (日) 10:00 ~ 17:00

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター RYLA とは、14 才 ~ 18 才並びに 19 才 ~ 30 才までの若い人の為のプログラムで地区内の若い人々とロータリアンが参加する地区プロジェクトです。

こちらは案内を回覧いたします。内容をご確認いただき、参加の場合は、申込書に氏名と必要事項をご記入下さい。

3. メールボックスに忘年家族会のご案内を配布いたしました。
 今回はディズニーシー・ホテルミラコスタでの開催となります。ご家族をお誘いいただき、多くのご参加をお待ちしています。

出席

会員数：51名 欠席出席免除者：4名 出席数：35名
 欠席数：12名 出席率：74.47%
 10月7日修正後出席率：86.96%
 クラブゲスト：加藤丈夫様（卓話講師）
 真鍋 耀様（NPO 法人 Curiosity）
 諸岡裕美子様（NPO 法人 Curiosity）

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

- * 加藤丈夫様（卓話講師・東京 RC）
 本日の卓話者 加藤様より、卓話御車代をニコニコへいただきました。ありがとうございました。
- * 近藤博隆会員
 妻の誕生日を祝福していただき、ありがとうございます。おかげ様で「僕は幸せ!!」
- * 柴山修一会員
 本間さん、大変お世話になります。ありがとうございました。
- * 加藤利雄会員
 今月は、米山月間です。寄附が昨年に比べて少ないので、皆さん協力しましょう。
- * 鈴木嘉男会員
 結婚記念日をお祝いいただき、ありがとうございます。お陰様で二人とも元気で50周年を迎えることが出来ました。
- * 清水卓治会員
 妻の誕生祝のお花ありがとうございました。
- * 新里時夫会員
 新しいニコニコ情報用紙、良いですね。
- * 川口勝彦会員
 来週、例会をお休みします。

ニコニコBOX	37,000円
累計	472,359円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

忘年家族会のご案内

2015-2016年度 忘年家族会につきましてご案内申し上げます。今回の忘年家族会は、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタにて開催いたします。クラブ管理運営委員会は、ご参加の皆様お一人お一人に楽しい時間をお過ごしいただき、思い出に残るような東京本郷ロータリークラブならではの心温まる忘年家族会にすべく鋭意準備をすすめているところでございます。多数のご参加をお待ち申し上げます。

記

◎日時 2015年12月16日（水）
 受付開始 17:00（会場 17:30）
 例会 18:00～18:20
 忘年家族会 18:30～21:10

◎会場 ディズニーシー・ホテルミラコスタ
 「パラディーズ」

◎会費 会員 20,000円
 （ご欠席の会員含め全員）

中学生以上 10,000円
 小学生 5,000円
 幼児（食事必要） 2,000円
 幼児（食事必要無し） 0円

※小学生の方でも、ご希望があれば、大人と同じ食事をご提供可能です。その場合の会費は、中学生以上（10,000円）となります。

以上

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ロータリーフェローズ東京 秋季例会 （懇親会）のご案内

下記の通り、ロータリーフェローズ東京 秋季例会が開催されます。例年この交流会は、ロータリー財団学友、ロータリー財団補助金奨学生、ロータリー平和フェローの交流を深める場として開催されております。

ロータリー財団学友、ロータリー平和フェロー、米山奨学生、ローターアクターとの交流の場となると思います。参加ご希望の方は、クラブ事務局へご連絡下さい。

記

日時：2015年12月6日（日） 14:00～16:30
 （14:00～挨拶 14:20～乾杯 16:30閉会）
 会場：国際基督教大学（ICU）
 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス
 （〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-2
 TEL0422-33-3131）

以上

※秋季例会は、例会や講演会やセミナーではありません。今年の内容は不明ですが、小規模での楽しいパーティーだと認識していただければ幸いです。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「孤独と無為について」

近藤博隆会員

わが国の老人問題は4つの苦に対策を講ずべきと、とらえている。

それは、貧苦、病苦、無為苦、そして孤独苦である。しかも、その中の病苦はとりもなおさず他の苦を伴うもので、最大の問題である。

しかし、主題は老人に限らず、どの年齢層にも非健常者におそってくる。この際とくに、身体障害者に思いを寄せて考えてみたい。

これ等、非健常者はなんで自分に限って、このような障害者になってしまったのかという、運命の巡り合わせに対する怒り、不満でやりきれない毎日だと推察する。健常者はその苦しい立場にある方の苦しみを代わってあげられないが、気持ちの上では気の毒にと、同情している筈である。しかし、その人に向かっては頑張れとか、努力していれば、だんだん良くなるとしか言いようがないのかも知れない。

しかし、非健常者はどう受け取るであろうか。お見舞い有り難うと受け取る方は少ないのではないだろうか。更に見舞いの側の方が、もっと重障害の方もいることと比べれば、まだいい方とも言ったら、非健常者は肚が立ってくるのではないだろうか。

この非健常という現実をご本人にとっては、他との相対的なものでいやされるものではなく、どんな方でも自分こそもっとも不幸なものだと思っていると思いやった方がよいのではないだろうか。ご当人は、あの時こうしていればとか、元気のときには良かったなあ！更には先天的障害の方は、この世に生まれてこなかったらなあ！とか、自分の原点と比べて現状を惨めに思い続けているのではないかと私は想像する。こういう思いが、ご当人を孤独に追い込んでいくと私は考える。

過去との対比ではなく、今と、今から将来について、この孤独パターンを脱却させてあげたいものである。今、自分に何が出来るのか。

今出来なくてもリハビリによって、こんな事ができるようになるんだという希望を持てるようになればいい筈である。

この希望をもてるようになるためにはどうしたら良いのだろうか。希望は活動する中から生まれてくるが、孤独パターンに入ってしまうと何もやる気が起こらない、無為になっているのである。何かやったらと、この際も傍の方が親身になって助言しても、そのストレスが考えこむもとになり、孤独を強めることもある。

そこで、私が気がついたのが、同じ障害をもつ友、仲間をもつこと。それは同病相はげむリハビリテーションであり、そこにおいて人間の持っている競争心を育てることだと思う。健常者でも、競争は力の伯仲してこそ、その成果が期待されるのと同様に、同病者グループとグループアドバイザーの協力があれば、リハビリ成果についての競いが生活の努力目標として、お互いにはっきりしてくるのだと思う。そうして孤独で、自分の元気な健常時と今との比較でなく、同病の仲間とのリハビリ競いの比較において、自分への納得が求められるようになれば、当初の孤独パターンから脱して、日常生活としての活動もあり、伴う無為も消えてくるのではないだろうか。

このような思いは失語者の方々がグループをつくり、ご本人、家族、医療関係者の協力も得て、努力しておられることを身近に知り、つくづく思い知らされた事である。

以上

「ロータリーとシェルターボックスがシリア難民を支援」

ロータリー・ニュース：2015年10月5日

2011年から内戦が続くシリアでは、毎日6,000人以上が国外に逃れています。9月現在で登録された難民数は410万人以上に上り、760万人以上が国内で避難生活を強いられています。現在の世界の難民数は「過去最悪」とあり、国連は報告しています。

「シリア難民の苦境により、今、世界の”思いやり”が試されている」と話すのは、国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長です。「世界中のロータリー会員は、シリアや世界各地での難民問題に深く心を痛めています。私たちは、避難を強いられた人びとの苦しみと不安を和らげるために、行動を起こすよう会員に呼びかけています。ロータリー会員は、職業スキルと知識、そして各地域リーダーとの人脈を駆使して、地元の人びとを結集させ、この人道的危機に取り組むことができます」

支援の一つの方法として、ロータリーのパートナーである非営利団体、シェルターボックスによる災害救援活動への寄付も行われています。シェルターボックスはこれまで4年近くにわたり、国連難民高等弁務官事務所と協力してシリア難民に救援物資を提供してきました。また、欧州へと移動する際にギリシャとトルコを通過する難民のために、仮設住居と生活物資の提供も行っています。多くのシリア難民が、命の危険を冒して海を渡り、ギリシャへとやってきます。

大勢の難民が押し寄せるギリシャのレスボス島では、たどり着く難民の数が一日2,000人に上ることもあります。「小さなゴムボートにあふれるほど大勢の人が乗ってやってきます。しかもそのほとんどは泳げないのです」と語るのは、最近ギリシャから戻ったシェルターボックス救援チームのメンバー、レイチェル・ハービーさんです。「さぞ恐ろしい経験に違いありません。しかも、この人たちは既に内戦での心の傷を抱えた人たちなのです」

ヒューコ事務総長はこう語ります。「何百万という難民の支援に力を注いでいるロータリークラブと会員の皆さまに心から感謝しています。難民生活を強いられたすべての方々には、深い同情を感じています」